

令和3年度 県西地区交流大会 新型コロナウイルス感染症対策

【選手・保護者・連盟理事・大会関係者】

- 1 感染対策責任者を置く。
 - ・参加チームは代表指導者（以下、チーム責任者）
 - ・連絡協議会理事は、各委員長
 - ・大会関係者は総務委員長
 - ・総括は理事長が行う。

チーム責任者は、大会後にチーム内で陽性者が発生した場合、以下の連絡系統で報告する。

感染対策チーム責任者 → 地区理事 → 理事長 → 管轄保健所
→ 総務委員長 → 役員
→ 関係チーム・審判

チーム責任者は、大会2週間前にチーム内で体調不良者・濃厚接触者・陽性者が発生した場合は以下の連絡系統で報告し、活動についての指示を受ける。

感染対策チーム責任者 → 地区理事 → 総務委員長 → 理事長

- 2 以下の事項に該当する場合の自主的な参加の自粛。
 - ・体調が良くない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - ・同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる
 - ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- 3 体育館内のフロア又は、観客席に入場出来る方々は以下の通りとする。
 - ・名簿に登録された選手、コーチ、アシスタントコーチ、チーム関係者、マネージャー及び来場する保護者全員の「別紙1_大会参加承諾書&健康チェックシート」、「別紙2_チーム関係者名簿」を提出したチーム。
 - ・大会役員、大会関係者は別紙1、別紙2を各会場責任者に提出、管理する。
- 4 参加者全員のマスクの着用をお願い致します。
- 5 体温チェックシートの記録と管理
 - ・選手、チームスタッフ等、大会の参加者は、大会が開始される2週間前から「体温チェックシート」で健康状態を観察・記録する必要があります。チーム責任者は管理を行ってください。
- ※ 健康チェックシートにチェックがつかない場合、当日の体温が平熱を越える場合、体調に少しでも不安がある場合は、該当者の出場を見合わせ、地区理事まで御報告ください。
- ※ 御報告頂いた内容・御相談内容を関係者に共有する場合には、必要に応じて個人情報を取り除いた上、共有させていただきます。
- 6 検温の実施と各用紙の提出
 - ・各会場で、午前と午後、体育館に入る際、検温の実施をいたしますので、役員の指示にしたがって下さい。
その際、「別紙1_大会参加承諾書&健康チェックシート」、「別紙2_チーム関係者名簿」の提出をお願い致します。検温時は名札の着用をお願いします。
検温をした後、体育館に入る事が出来ます。宜しくお願い致します。
- ※名札を着用していないと入館できません。（役員、指導者は委員の名札、JBA コーチ ID、名刺等でも代用可）
- 7 各用紙の確認
 - ・各会場の事務役員は全チームの入館後、各用紙の確認を行う。

8 検温担当

・検温担当は事務役員のコーチ又は保護者2名で行う。但し、第1試合開始後は試合のないチームのコーチ又は保護者が行き、次の試合開始15分前に交代して行う。

また、2面展開で試合を行う会場については、AコートとBコートに分かれて受付・検温を行うため、その際は競技審判役員のコーチ又は保護者2名で行う。

【体温測定、体調チェック】

体温測定：選手、チームスタッフ、審判、関係者、スタッフは必ず毎日実施してください。

- 1 大会終了後に新型コロナウイルス感染症を発症した場合の速やかな報告
- 2 大会実施中は可能な限り行動記録を記載（感染者発生発覚の際の濃厚接触者特定に役立ちます）
- 3 感染または、感染の疑いがある場合の報告事項

【参加資格】

- 1 選手、チームスタッフは大会2週間前から当日において、以下に該当しないこと。

- ・平熱以上の発熱がある
- ・咳(せき)、のどの痛み、などの風邪症状がある
- ・だるさ(倦怠感)、息苦しさ(呼吸困難が)がある
- ・臭覚や味覚の異常がある
- ・体が重く感じる、疲れやすい等がある
- ・新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある
- ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる
- ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察機関が必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある

※ 上記に該当した際は、主催者にて大会参加を取り消す場合があります。地区理事にご相談ください。

- 2 「チーム内に感染が疑われる者がいない」そして「試合を行うための選手のコンディションが整っている」の2つの条件が最低限揃うこと。

【重要】

- 1 今大会の開催中に、茨城県新型コロナウイルス感染症拡大対策指針がステージ4になった場合、いかなる状況であろうとも大会を中止と致します。
- 2 今大会の開催中に、陽性者、濃厚接触者、体調不良者が判明した場合の対応、また、大会の実施可否の判断についてはJBAから発信された「JBA バスケットボール活動再開ガイドライン第3版」に基づいて対応、判断致します。

【個人情報の取り扱いについて】

本大会において記入いただいた個人情報については、U12 部会県西地区連絡協議会が適切に取り扱い、大会参加者の健康状態の把握、来場可否の判断及び必要な連絡のためにのみ利用します。また、個人情報保護法等の法令において認められる場合を除き、本人の同意を得ずに第三者に提供いたしません。

但し、大会会場にて感染症患者またはその疑いのある方が発見された場合には、必要な範囲で保健所等に提供することがあります。

本シートに記入いただいた個人情報については、1ヶ月間、U12 部会県西地区連絡協議会理事長が保管をし、その後、「シュレッダーによる破砕」等で破棄いたします。

【バスケットボールを行う上での感染対策】

- 1 いばらきアマビエちゃんに登録をお願い致します。
 - 2 マスクの着用やソーシャルディスタンス確保の徹底、基本的な衛生エチケットを遵守する。
 - ・ 1 m以上間隔を開けてベンチの設営をする。
 - ・ 試合中ベンチのコーチ、アシスタントコーチ、保護者、またTO担当チームはマスクの着用。
 - ・ 試合終了後、選手は速やかにベンチをあとにして、指導者、保護者はベンチの消毒を行う。
 - ・ 試合終了後、TO担当チームは速やかにTO席をあとにして、TO主任はTO席、器具の消毒を行う。
 - ・ 試合前後または試合中にハドル、円陣を組むこと、ハイタッチ、抱擁はしないでください。
 - ・ ベンチではマスクを着用し、応援・会話を控えてください。
 - ・ サイドライン/ベンチにおいても適切なソーシャルディスタンスを確保してください。
 - ・ 観客席では、可能な限り密にならないように、また、退出の際には、使用した椅子等の消毒にご協力いただくと幸いです。
- ※バスケットボールの消毒に関しては、ボールそのものの劣化を招く可能性があると言われておりますので、指定ボールメーカーの「お手入れ方法」に従い実施する。
- ・ タオルの共有はしない。
 - ・ ボトルのまわし飲みをしない。飲みきれなかったドリンクは持ち帰ること。
- 3 手指消毒液など、試合や練習では広く使用ができるように準備し、参加者/選手、コーチ、審判は頻繁に手洗いを実施する。
 - ・ 消毒液は主催者側でも用意しますが、参加チームでも用意し、こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒や、使用用具の消毒を実施してください。
 - ・ スポーツ施設・用具器具、その他の備品も頻繁に消毒を行う。
 - 4 施設の利用時はアリーナの窓、ドアを開放し、観客席、選手及び保護者の待機場所等では周囲の人となるべく距離（1～2 mを目安）を空ける。
 - 5 施設のトイレ等を使用した場合は、都度アルコール消毒の徹底を行う。
 - ・ 手洗い場にはポンプ式液体または泡石鹸を用意する。
 - ・ 「手洗いは30秒以上」等の掲示をする。
 - ・ 手指消毒液を設置する。
 - 6 そのほか、感染防止のために施設管理者が決めたその他の措置の遵守、指示に従ってください。
- ※これら上記の対策を実施しても感染リスクをゼロにすることはできません。参加チームは、その点を理解した上で、今大会に参加をしていただくと共に、関係者への周知を行ってください。

【各体育館の入場制限について】

参加チームは、体育館に入ることが出来る人数を1チーム・35名までと制限させていただきます。
(例) 選手15名、コーチ(アシスタントコーチ・マネージャー等)4名、チーム関係者(応援者含む)16名・・・合計35名
各チームのご理解とご協力をお願い致します。
理由として、各体育館でコロナ感染拡大予防のために、入場制限がされているため。

【その他】

- 1 大会へ参加するチーム・選手は、大会が定めるガイドラインの各種事項について遵守するものとし、虚偽等は一切あってはならない。
- 2 各チームの新型コロナウイルス感染対策責任者は、大会当日に大会参加承諾書兼健康チェックシートとチーム関係者名簿を受付で提出し、会場への入場許可をもらうこと。(検温結果および健康状態によっては入場をお断りする場合があります)。

- 3 「上記【参加資格】の1」の事項を含め、新型コロナウイルス感染症と疑われる体調不良者が発生した際は、試合中であつたとしても出場資格を取り消す場合がある。
- 4 出場する試合の2週間前からにおいて、新型コロナウイルス感染症と疑われる体調不良者が発生した場合は、その者の来場と試合への出場を不可とする。加えて当該チームのチーム責任者は、前述の体調不良者との濃厚接触者を確認し、大会本部と協議のうえ、非接触者と断定できる選手が5名以上揃わない場合は不戦敗とする。また、体調不良者が発生した後で、保健所等の判断を仰ぐにあたり、その後の大会運営等に大きな支障をきたす場合は大会を中止する場合がある。
- 5 大会当日、施設は貸し切りではありません。他の利用者もおりますのでご理解ください。
- 6 大会中の観覧席からの応援につきまして、大きな声での声援はお控えください。

〔会場からの感染防止チェックリスト〕

～参加者が遵守すべき事項～

□ 以下の事項に該当する場合は、自主的に利用を見合わせる。

※該当する場合には利用ができない場合があります。

ア. 体調がよくない場合(例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)

イ. 新型コロナウイルス感染症陽性とされた方との濃厚接触がある場合

ウ. 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

エ. 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

□ マスクを持参すること(受付時や着替え時等のスポーツを行っていない際や会話をする際にはマスクを着用すること。)

□ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。

□ 他の利用者、施設管理者スタッフ等との距離(できるだけ2m以上)を確保すること。(障害者の誘導や介助を行う場合を除く。)

□ 利用中に大きな声で会話、応援等をしないこと。

□ 感染防止のために施設管理者・主催者が定めた措置を遵守すること。

利用終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

□ 参加者が運動・スポーツを行う際の留意点として十分な距離を確保すること。

□ 運動・スポーツの種類に関わらず、運動・スポーツをしていない間も含め、感染予防の観点から、周囲の人となるべく距離を空けること(介助者や誘導者の必要な場合を除く。)

□ 強度が高い運動・スポーツの場合は、呼気が激しくなるため、より一層距離を空けること。

□ 走る・歩くイベントにおいては、前の人の呼気の影響を避けるため、可能であれば前後一直線に並ぶのではなく、並走する、あるいは斜め後方に位置取ること。

□ 運動・スポーツ中に、唾や痰をはくことは極力行わないこと。

□ タオルの共用はしないこと。

□ 飲食については、熱中症等のリスクも踏まえつつ指定場所で行い、周囲の人となるべく距離を取って対面を避けること。また、飲食中の会話は控えめにすること。

検温の流れ（大会2週間前から）

〔2週間前～大会前日〕

・選手・スタッフ・保護者は健康状態に留意しながらそれぞれ健康チェックシートに記入し、チーム責任者が責任をもって管理する。

〔大会前日〕

・前日正午までに、選手・スタッフ全員の体調に問題がないことを、各地区理事に連絡。
※ 体調不良者がいる場合は、その旨を報告し、指示を仰ぐ。判断する際、体調不良者の行動履歴（いつまで練習していたかなど）が重要となるので、行動履歴を記録しておくこと。

〔当日〕

・各チームで集合し（試合会場とは別が望ましい）、チーム責任者又はスタッフが体温チェックシートを確認する。
・会場到着後は、体温チェックシートを受付に提出し、記載内容を事務担当が確認する。1チームごとに非接触型の体温計を用いて、再度体温のチェックを行う。

一日の流れ（チーム用） ※ 会場到着から退場まで

- ・会場以外の場所でチーム責任者又はスタッフが、体温チェックシートを確認する。



- ・会場に到着

※事前に会場到着時間を明記しますので、各チーム厳守してください。



- ・チーム責任者又はスタッフが受付へ別紙1及び別紙2を提出し、検温を1チームずつ行います。
(名簿に記載された順番で並んで下さい。その際ソーシャルディスタンスをとるよう心がけてください。)



- ・指定された待機場所へチームで移動する。
- ・指定された場所でアップを行う。(各会場の指示に従ってください。)



- ・□分間の換気、消毒終了後、入場する。



- ・□分間コートでアップをして試合を実施。(ベンチではマスク着用、ハドル・円陣禁止、声出しは控える)



- ・試合終了。自チームのベンチを消毒する。



- ・T0が予定されているチームは必要人数のみ残ってT0を実施。T0メンバー以外は待機場所待機してください。



- ・審判やT0主任以外のコーチ又はスタッフ、選手、保護者は試合終了後、本部に来て報告後、速やかに帰宅する。